

殉国七士墓を慰霊された昭和天皇

証明された「陛下が靖國参拝されないのはA級戦犯が祀られたから」のウソ

「昭和天皇が靖國神社参拝をされなくなったのはA級戦犯が祀られたから」というのは左翼がよく使うロジックですが、これが決定的な間違いであることを具体的な事例を持って証明したのが元教師で作家の若狭和朋氏です。

氏はこのほど、「日本人が知ってはならない歴史」、「続 日本人が知ってはならない歴史」そしてこの度発行の「日本人が知ってはならない歴史 戦後篇」の三部作を出版し、その記念パーティーが10月31日に岐阜で行われました。

この三冊目の中にも収録されているそうですが、氏がチャンネル桜の番組で語ったエピソードをまとめると、概略、次のようなことだったようです。より詳しくは[昭和天皇の墓参り 若狭和朋様の寄稿\(草莽の記 杉田謙一ブログ\)](#)をご覧ください。



三冊とも朱鳥社から税込み1575円で好評発売中です

昭和54年5月26日、昭和天皇・皇后両陛下は翌日に愛知県藤岡町で開催される第30回全国植樹祭にご出席されるため、三ヶ根山の高台に建つグリーンホテルにご宿泊されたそうです。しかし、植樹祭にご出席されるには、式典会場からは非常に遠い不便な場所だったといえます。このホテルに御宿泊されたのは陛下の強い御内意によるそうです。

但し、このホテルは高台にあり、東京裁判で処刑された七人の殉国七士廟が一望できる場所でした。植樹祭の当日、早朝六時頃、責任ある方が陛下をご案内しようと部屋に入ったところ、両陛下はこの殉国七士墓の墓碑と戦友の記念碑にお向かいになられて17-18分近く不動のままに佇立されていたといえます。

若狭氏はこれを「昭和天皇の墓参り」と称しているそうですが、その年の11月8日にも美智子妃殿下と礼宮が同じようにされたといえます。さらに今上天皇も平成の時代になって12月23日のお誕生日、実はこの日に処刑が執行された日ですが、この殉国七士墓に毎年お使者をよせてお墓詣りを欠かさないそうです。

詳しくはyou tubeにアップされている【日本人が知ってはならない歴史】の6/6を是非ご覧ください。なお、殉国七士墓については「旧陸海軍部隊と遺跡ホームページ」から以下の画像とテキストを引用させて頂きました。このエピソードは既に昨年3月には既知のことだったようです。私が気がついたのが遅かったと思いますが、なんだかほっとして嬉しくなる話題でしたので取り上げました。



殉国七士廟（愛知県幡豆郡幡豆はず町三ヶ根山）

殉国七士廟由来

東條英機	（元陸軍 大将 ）
武藤章	（元陸軍中將）
松井石根	（元陸軍 大将 ）
木村兵太郎	（元陸軍 大将 ）
土肥原賢二	（元陸軍 大将 ）
広田弘毅	（元総理大臣）
板垣征四郎	（元陸軍 大将 ）

昭和20年8月15日に終戦となった太平洋戦争（大東亜戦争）の責を問い、[アメリカ](#)、[中国](#)、[イギリス](#)、ソビエト、[オーストラリア](#)、[カナダ](#)、[フランス](#)、[インド](#)、ニュージーランド、[フィリピン](#)、オランダの11ヶ国は極東**国際軍事裁判**を開き、事後法に依り審判し票決によって7名に対し絞首刑を決定し、昭和23年12月23日未明前記**A級戦犯**7名の絞首刑が執行されたのである。

当時としては命がけて火葬場から東條英機**大将**を始め**A級戦犯**7名の遺骨を拾得しようと決心したのは、絞首刑の判決が言い渡された昭和23年11月12日午後のことであった。

なぜならば各担当弁護士が、遺体の家族引渡しの件で**マックアーサー**指令部を訪ねたが了解を得る事ができなかったからである。

このまゝでは遺体も遺骨も家族には引渡されず極秘のうちに処分される事が明白となるので、「罪を憎んで人を憎まず」という日本古来の佛教思想からしても、武士道精神として勝者が敗者の死屍に鞭打つ行為は許されない。

又日本の将来の平和追求のためにも日本国の犠牲者として罪障一切を一身に引受けて処刑される7名の遺骨は残さなければならぬ。

そこで遺骨だけでも家族に何とか渡したいとの一念■■■り大冒険が数名の有志で計画され、その事の実行に当っては綿密な計画を要した。（■■■は判読不能）

それには先ず刑の執行日を速やかに探知しなければと極東裁判**米国**検事某氏よりやっとの事で7名の刑の執行日はクリスマスの前日12月23日で、火葬場も横浜市久保山火葬場と推察する事ができた。

[横浜](#)久保山にある興禅寺住職市川伊雄氏を通し、久保山火葬場長飛田美善氏の協力を得ることに成功した。

しかし当日は米軍の監視が厳重であり、一度は当初の計画通り7名の遺骨若干を一体ずつ別々に密かに米軍の眼を盗んで奪取し、一応計画は成功したかに思われたが、飛田氏がこれら遺骨の前の香台に日本人の習慣として供えた線香の匂いを不審に思い、感づいた**米国**人によりこの遺骨は再び米軍に取り戻されてしまった。

しかし、その時遺骨本体は既にトラックに積み込まれた後であったので米軍も面倒と思ったのか、奪取した7名の遺骨を全部一緒に混ぜ、幸いにも近くにあった火葬場内の残骨捨場に遺棄して帰ったのである。

この時米軍が持ち去った7名の遺骨は全て粉碎し太平洋上に投棄されたとの風評があるが、どの様に処理されたのか真偽のほどはわからない。

そこで、翌24日はクリスマスイブであり、浮かれて米軍の見張りが手薄になる事を知った三文字正平弁護士と興禅寺住職市川和尚は、木枯らしの吹き荒ぶ夜半黒装束に身を固め、飛田火葬場長の案内で目的の現場に入り込んだ。

周囲は暗くても、灯火と物音は禁物である。骨捨て場の穴は深くて手が届くはずはなく、人が入れるような入口もないので思案の結果火かき棒の先に空缶を結び付け苦心して遺骨をすくい取ることに成功し、普通の骨壺1個にほゞ一杯を拾い上げて密かに持ち帰った。

見張りを気にして手探りで遺骨をかき集める作業は想像以上の大仕事であった。

遺棄された真新しい真白な遺骨はまぎれもなくこの世に唯一の7名の遺骨であり、これを奪取することに成功したことは、三文字弁護士にとっては一生を通じ命を賭した熱く長き一日のできごとであった。

こうして取得した遺骨は一時人目を避けて伊豆山中に密かに祭られていたが、幾星霜を重ねた後遺族の同意のもとに財界その他各方面の有志の賛同を得て、日本の中心地三河湾国定公園三ヶ根山頂に建立された墓碑に安置されることになり、昭和35年8月16日静かに関係者と遺族が列席し墓前祭が行われたのである。

以来毎年4月29日の天皇誕生日の良き日に例大祭を行うとともに、時折遺族が訪れて供養し、又一般の人々や観光客も花を手向けて供養する数を増し、更に戦病死された戦没者の霊をまつる慰霊碑が数多く建立され、これら遺族や戦友も度々ご参拝に参る様になり、世界平和を祈願する多くの人々により三ヶ根山スカイパークの名所としてクローズアップされてきた現在である。

弁護士 三文字正平 書 昭和59年10月31日 建立（解説石碑より）



七人の殉難者の名前が刻まれた石碑

碑文(副碑)

米國の原子爆弾使用ソ連の不可侵條約破棄物資の不足などにより敗戦のやむなきに至った日本の行為を米中英ソ濠加拂蘭新蘭印比11ヶ國は極東國際軍事裁判を開き事後法によりて審判し票決により昭和23年12月23日未明 土肥原賢二 松井石根 東條英機 武藤章 板垣征四郎 廣田弘毅 木村兵太郎七士の絞首刑を執行した

横濱市久保山火葬場よりその遺骨を取得して熱海市伊豆山に安置していた三文字正平辯護士は幡豆町の好意によりこれを三ヶ根山頂に埋葬し遺族の同意と 清瀬一郎 菅原裕 両辯護士等多數有志の賛同とを得て墓石を建立した

遙かに遠く眼を海の彼方にやりながら太平洋戦争の真因を探求して恒久平和の確立に努めたいものである。

昭和35年7月17日

極東國際軍事裁判 辯護團スポークスマン 辯護士 林逸郎 誌

・著者(若狭和朋)からメッセージ

本を書けば、ひととのご縁が生ずる。「続 日本人が知ってはならない歴史」は2005(平成17)年の12月に出た。その月の24日に私は三ヶ根山の頂上にいた。殉国七士墓にお参りして、近くの食堂でコーヒーを飲んでいた。十数人の一団が入り、座った。一人の御婦人が「続」の書名をあげ周囲に推奨されている。友人が笑って、「著者の男がここでコーヒーを啜っていますよ」と言った。

東条由布子氏だった。東条英機のお孫さんである。このようにして御縁を頂戴した。「東条内閣が避戦内閣だったなんて初めて聞きました」と言われた。開戦にいたる経過を子細にみれば、日本の避戦努力は涙ぐましいとしか形容できない。昭和天皇や東条英機たちがいかに努力してみても開戦は必然であった。引き返し可能な地点は何処だったのであろうか。歴史に「イフ・たら」は禁句と言う。

ある意味では真実だと私も思う。しかし、歴史の裾野を振り返るときに「イフ・たら」を抜きに歩んできた道を検証することはできない。「あの地点だったな」と岐路を見るのは「イフ・たら」である。

私の拙いこの本は三部作となった。一冊目が日清戦争・日露戦争を扱い、二冊目が開戦まで、そして三冊目の本書が終戦以降となった。三冊を合わせると六百数十頁となる。それぞれに独立しているので、どの本からでもお目を通していただけたらと願う。

カテゴリ: [政治も](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(9\)](#)

タグ: [昭和天皇](#) [殉国七士廟](#) [慰霊](#) [若狭和朋](#) [日本人が知ってはならない歴史](#) [昭和天皇の墓参り](#) [A級戦犯](#) [靖國神社](#)

コメント(9)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [花うさぎさん](#)
・ニュース【日本の議論】

2009/11/23 22:16

[民主党](#)連立政権下で[指揮権発動](#)はあるのか？

国会議員による不正の数々を暴いてきた東京地方検察庁＝東京・[霞が関](#)(大西正純撮影) 法務大臣が検察の捜査を止めることもできる“[指揮権発動](#)”をめぐり、[民主党](#)政権と法務・検察との関係が注目されている。[鳩山由紀夫](#)首相の「故人献金」事件や[小沢一郎](#)・[民主党幹事長](#)側への献金問題など、与党[民主党](#)幹部周辺の“政治とカネ”の問題が相次いで浮上しているからだ。

西松事件では[民主党](#)が設置した第三者委員会の報告書で「法相は[指揮権](#)を発動する選択肢もあり得た」などとされ、法務・検察側には「[民主党](#)政権では[指揮権発動](#)もあるのか？」と警戒感も。東京地検の捜査が続く中、[指揮権発動](#)問題にスポットをあてた。

発動は過去に一度だけ

「個別の事件についての答弁(コメント)は差し控えたい」。歴代の法務大臣が国会や記者会見などで、具体的な事件に関する質問を受けたときの常套(じょうとう)句。この言葉には、法相の発言が捜査に影響し、[指揮権](#)につながらないようにという意味が込められている。

法相経験者の一人も、「[法務省](#)は、かなり神経を使っていた。法務大臣の言動は、使いようによっては検察に対する一種のブラフ(脅し)となり得るからだ。大臣は常に自らを律しなくてはいけないと感じた」と振り返る。

その[指揮権](#)を規定しているのは、検察庁法14条で、「法務大臣は…検察官を一般に指揮監督することができる。但し、個々の事件の取調又は処分については、[検事総長](#)のみを指揮することができる」というただし書き部分を指す。(続きは以下で)

<http://sankei.jp.msn.com/affairs/crime/091123/crm0911231801007-n1>.

htm

2009/11/23 22:22



Commented by **花うさぎさん**
 ・イベントガイド<緊急抗議活動のお知らせ>

参政権を求める不逞在日に怒りのシュプレヒコールを直接ぶつけよう!
 外国人参政権を推進し国益を損なう国会議員白眞勲を許さないぞ!
 日本の選挙権を要求する反日組織**民団**を日本から叩きだそう!

【集合日時】平成21年11月28日(土)15:00~
 【集合場所】在日本**韓国**YMCA前
<http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/map1.htm>
 【生中継】**ニコニコ**生放送メンテナンスのため
 15:00~16:00までスティックカムにて中継予定
<http://www.stickam.jp/profile/zaitokukai>
 16:00~17:00までニコニコ生放送にて中継予定
<http://live.nicovideo.jp/watch/lv7097014>

【注意事項】雨天決行特攻服など現場にそぐわない服装はご遠慮ください
 日章旗、プラカード持参大歓迎当日は撮影が入りますので、顔を写されたくない方はサングラスなどをご持参ください
 【主催】在日特権を許さない市民の会
 【協賛】主権回復を目指す会／せと弘幸Blog『日本よ何処へ』／NPO外国人犯罪追放運動／外国人参政権に反対する会・東京
 【問い合わせ】在日特権を許さない市民の会
zaitokuhantai2@gmail.com
 桜井誠(070-5021-5975)

【参考資料】「参政権」テーマに28日時局講演 青年会OB全国連絡会
 在日**韓国**青年会OB全国連絡会(林三鎬会長)は28日16時から、東京・千代田区の在日**韓国**YMCA会館で時局講演会を開く。永住外国人の地方参政権法案が国会に上程される見通しのなか、白眞勲参院議員(**民主党**)を講師に迎え、「地方参政権の今後の動向」について聞く。参加費は500円(資料代)。引き続き懇親会も行われる。問い合わせは同連絡会(TEL 03-3454-4619)。(2009. 11. 18 **民団**新聞)



Commented by **八目山人さん**
 この七人の内には、昭和天皇が嫌っていた人は、いないと思います。

2009/11/23 23:15

昭和天皇が、彼には問題が有ると思っておられたのは、松岡と白鳥ではないでしょうか。



Commented by **花うさぎさん**
 To 八目山人さん こんにちは。

2009/11/23 23:34

>昭和天皇が、彼には問題が有ると思っておられたのは、松岡と白鳥ではないでしょうか。

日・独・伊の三国同盟推進派ですね。

しかしこれで日経が**スクープ**して左翼が大喜びした「私は、或る時に、A級(戦犯)が合祀され、その上、松岡、白取(ママ)までもが。(中略)だから、私はあれ以来参拝していない、それが私の心だ」がウソだとほぼ判りましたね。

さあ～、当時そのように主張していた左翼マスコミ、識者の顔が見たいです(^.^)。



Commented by **ichiro51さん**
 Thank you for your article.

2009/11/24 01:11



Commented by **花うさぎさん**
 To ichiro51さん

2009/11/24 01:39

>Thank you for your article.

You're welcome.

2009/11/24 12:13



Commented by **花うさぎ** さん
・ありがとうございます。

いま確認したところ、アクセスカウンターが150万を超えておりました。

日頃の皆様のご支援に心から感謝致します(--)



Commented by **元気** さん
こんにちは。

2009/12/07 11:54

東条英機元首相の遺言は素晴らしいです。
遺言の中で、

東亜民族の誠意を認識して、これと協力して行くようにしなければならぬ。
実は、東亜の多民族の協力を得ることができなかったことが、今回の敗戦の原因であると
考えている。

と、あります。

「東亜民族の誠意」難しいですね。

日本人であっても、鳩山氏の誠意、小沢氏の誠意、民主党の誠意…

誠意を見つけることは困難です。

皇室が軽んじられ、金や権力欲にまみれた日本になれば、誠意はますます軽んじられる
気がします。

さらには、特アの指導者の誠意を信じることも難しいです。

ゆえに、国政、外交、国防の難しさを思わずにはいられません。

記事をトラックバックさせていただきました。

よろしくお願いします。



Commented by **花うさぎ** さん
To 元気さん

2009/12/07 12:49

>「東亜民族の誠意」難しいですね。

はい。その最たるものが蒋介石ですよ。何のために日本で学び資金援助まで受けたの
か？です。

>ゆえに、国政、外交、国防の難しさを思わずにはいられません。

日本国民の圧倒的多数が「保守」を支持して、日本国民、主権、領土の基本を見直さない
と、日本の未来は切り開けないでしょうね。どんどん真逆の方にいってますよ。